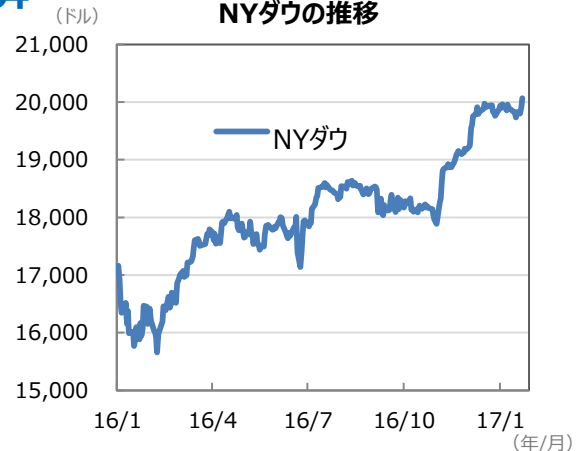


## 今日のトピック 米国の株式市場 NYダウ初の2万ドル台乗せ 世界経済の拡大、企業業績の上振れ期待が高まる

### ポイント1 トランプ大統領就任後株価は上昇

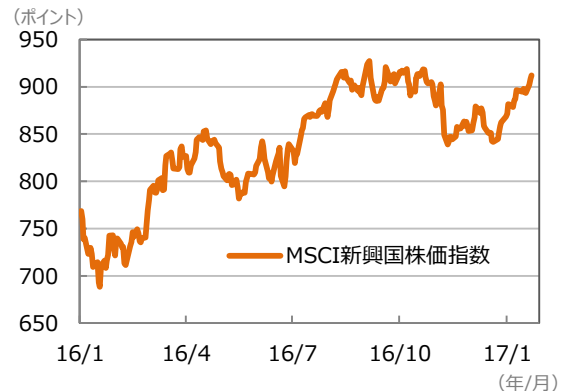
- 米国株式市場は、25日にNYダウが初の2万ドル台乗せとなりました。S&P500、NASDAQ指数なども史上最高値を更新しました。トランプ大統領は就任直後から、環太平洋パートナーシップ（TPP）交渉からの離脱、北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉、メキシコ国境での壁建設などを相次いで発表しました。こうした中での株価上昇は、世界経済の拡大や企業業績の上振れに対する期待の高まりが反映されたためと考えられます。
- 1月25日現在、トムソンロイターによれば、S&P500採用企業の20%程度の業績発表（2016年10-12月期）が終わりましたが、その69%が上振れとなるなど好調です。こうしたことから2017年の企業業績の上振れ期待が強まりました。

NYダウの推移



(注) データ期間は2016年1月4日～2017年1月25日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

MSCI新興国株価指数（ドルベース）の推移



(注) データ期間は2016年1月4日～2017年1月25日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 新興国株式にも波及

- 米国株式市場が堅調な展開となる中、新興国株式も堅調に推移しています。
- 世界経済が上向き、原油などの商品価格も安定しています。また、足元で米長期金利が上昇していますが、トランプ政権のドル高けん制発言でドル高・現地通貨安は進んでおらず、新興国の経済や金融市場にマイナスの影響を与えていない点も評価されていると見られます。

### 今後の展開 世界的な株高が期待できそう

- 米国株式市場は、引き続き景気、業績への期待にけん引されそうです。一方、トランプ新政権の貿易交渉などには引き続き注目する必要があります。ただ、貿易交渉は米国への投資を呼び込み、雇用を拡大することが狙いと考えられます。この場合、一般に言われる関税引き上げ合戦には至らないと思われます。
- 米国株式市場が堅調に推移することで、リスク許容度が高まり、アジアを含む新興国や日本株にも資金が流れやすくなっており、世界的な株高が期待できそうです。

**ここもチェック!** 2017年 1月24日 トランプ米大統領就任前後の米国の債券市場  
2017年 1月18日 最近の指標から見る米国経済 (2017年1月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。